

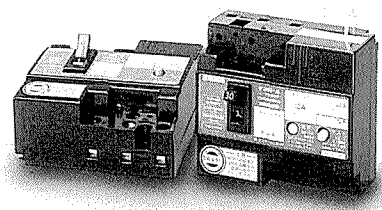
選定に際してのご注意

警告

- 感電事故の防止ができません。
■漏電遮断器付き住宅用分電盤をお選びください。
- 住宅用分電盤は相線式(1φ2W、1φ3W)・回路電圧に合わせてお選びください。
回路方式 単相2線式(1φ2W)100V
単相3線式(1φ3W)100/200V
仕様合わないとう漏電遮断器が動作しません。
2. 単相3線式の主幹漏電遮断器は中性線欠相保護付きをお選びください。
3. 不要な動作原因になります。
商品に表示してある盤定格電流の80%以内でのご使用をおすすめ致します。

注意

1. 発熱により火災となる恐れがあります。
■盤定格電流を超える主幹ブレーカーは取付けないでください。
2. 誤って使用すると電気器具を損傷します。
■三相3線式電路に住宅用分電盤を使用しないでください。
■分岐の200V回路には必ず2P2E100/200V用分岐ブレーカをご使用ください。
3. 不要な動作を防止するため「住宅の電気設備推奨基準」にしたがってください。



住宅の電気設備推奨基準

1. 住宅用分電盤

- (1)住宅用分電盤はJIS C8328「住宅用分電盤」に適合し、(社)日本配線器具工業会の認定マーク(HP)が貼付されたものを推奨いたします。
(社)日本配線器具工業会が認定した住宅用分電盤には認定マークが貼付されています。
- (2)単相3線式の場合、単相200V電気機器が容易に採用できるよう200Vの予備回路を設けるようにしてください。
- (3)予備回路、分岐ブレーカの設置スペースを確保してください。



2. 漏電遮断器

- (1)住宅用分電盤には、必ず漏電遮断器を施設してください。
- (2)単相3線式配線の場合、主幹漏電遮断器は必ず中性線欠相保護付のものにしてください。

3. 分岐回路

- (1)分岐回路数は、住宅の広さに応じて下表の値以上としてください。
・αは大容量機器用などの専用回路を示します。
・電気利用の変化に対応できるように、200V回路及び100V回路各1回路以上の予備回路を設けてください。

- ・専用分岐回路の必要な大型電気機器については下表のほかに別の専用分岐回路を設けてください。なお、機器の種類によっては200V回路を設けてください。
- ・分岐回路は、電灯用とコンセント用に分けてご使用ください。
- ・深夜電力機器など電気契約種別の異なるものは、別個の専用回路を設けてください。
- (2)専用分岐回路
・10Aを超える大型電気機器は、専用回路で使用してください。また、とくに大型の場合は200V分岐回路を適宜設けてください。
- ・一般に専用分岐回路で使用する機器としては、次に示すようなものがあります。電子レンジ、電気レンジ、食器洗い器、電気暖房器、エアコン、衣類乾燥器、温水便座など。

住宅用分電盤

住宅の広さ	必要最小回路数	望ましい回路数							
		計	照明	内訳		αの例			
				一般コンセント		衣類乾燥機	エアコン	洗浄便座	電子レンジ
				台所	台所以外				
50m ² (15坪) 以下	3	5 + α	1	2	2	1	1～3	1	1
70m ² (20坪) 以下	4	7 + α	2	2	3	1	1～3	1	1
100m ² (30坪) 以下	5	8 + α	2	2	4	1	1～5	1～2	1
130m ² (40坪) 以下	6	10 + α	3	2	7	1	1～6	1～2	1
170m ² (50坪) 以下	8	13 + α	4	2	7	1	1～7	1～2	1